Rotary International District 2500

Governor's Monthly Letter

2018‣2019

インスピレーションになろう

Rotary

ガバナー月信
Vol.5
2018.11.1

■目次

細川　吉博　第2500地区ガバナーメッセージ …… 1

公式訪問レポート …… 2

お勧めのお店紹介 …… 8

委員会報告 …… 9

ライラセミナー …… 10

支援プロジェクト報告 …… 12

委員会開催報告 …… 14

地区補助金報告 …… 15

ハイライト米山 …… 16

米山奨学生レポート …… 18

ポリオ撲滅キャンペーン …… 19

ロータリーの友委員会 …… 20

コーディネーターニュース …… 21

オンツーハンブルグ …… 22

新入会員・ロータリー財団寄付者・物故会員 …… 23

例会出席率 …… 24

地区大会スナップ …… 25

ガバナー・メッセージ

2018－19年度
国際ロータリー第2500地区ガバナー　細　川　吉　博
（帯広北ロータリークラブ）

9月28、29日と帯広市にて地区大会が無事終了しました。多くの皆様にご参加いただけましたこと心から感謝申し上げます。ガバナーとしてはもちろん初めてですが、13年前の合田ガバナー年度を経験し、クラブとして地区大会を開催した知識があるといっても皆かなり緊張していたようです。しかしこのような経験ができることはホストクラブとしての責任であると同時に貴重な体験と思いました。

特に若手が自分たちの地元、十勝をどうアピールしようかと考えた結果、「十勝野菜タワー」が完成しました。大会を通じて自分たちの思いを実現させられる機会に恵まれました。そして何より公式訪問で多くのクラブを訪問させていただいた時に若手が副幹事として同行した結果、他のクラブがどのような例会運営をしているかなどを知ることができました。それはロータリーとは何かを自分自身の中で真剣に考える機会になりましたし、これからの活動にきっと生かされていくと信じています。

皆さんに「インスピレーション」を伝えられましたでしょうか。

私自身は多くの「インスピレーション」を得られました。

ロータリーデーを地域でアピールされている北見の3クラブの皆さん、ポリオをパネルで市民に啓蒙しようとしている帯広の5クラブ、そのほかにも奨学資金を集めて地域の子供達が学業に専念できるよう活動している多くのクラブ、などなど大変素晴らしい活動を聞かせて頂きました。

三木RI会長代理はロータリーにおいての職業奉仕の大切さをお話いただきました。小船井地区研修リーダーはロータリアンとしての質の大切さを訴えられました。私たちにとってもしっかりと考えていきたい大きなテーマと思います。

ロータリーは素晴らしい団体です。私たちは奉仕の理念に基づいて活動しています。その活動を通じて自分を成長させ、自分の生業をより素晴らしい結果をもたらすものとしています。その素晴らしい理念を多くの人に共有してもらうため、仲間作りを進めましょう。ロータリーの素晴らしさを知らずに退会していく仲間にロータリーを解ってもらいましょう。

今月は「ロータリー財団月間」です。

1917年にアーチ・クランフが呼びかけた「何か良いことをしようではないか」から始まった財団です。そのプログラムには地区補助金、グローバル補助金、ロータリー平和センターそしてポリオプラスがあります。

特にポリオプラスでは1979年の最初の３Hプロジェクトから素晴らしい成果を成し遂げていますが今年も20件に近い発症がまだあります。特に1700万人に上る身体障害者の減少、150万人の命を救ったと言われています。ぜひその成果を私たちロータリアン皆の成果と考えて世界に誇り、さらなるみなさんのご理解とご支援をお願いする次第です。

財団のご理解、ご支援は財団を大いに活用することから始まります。

ぜひMY　ROTARYに登録して財団の理解を深めてください。

第１分区　利尻島ロータリークラブ

会　　場：ホテル利尻　　会　長：常磐井武榮
公式訪問：2018年9月4日（火）　　幹　事：富樫　　昇

台風に追われ、朝から利尻RCとも連携をとって頂き時間の変更があるかもしれないという落ち着かない中、利尻島ロータリークラブの公式訪問を開催しました。稚内より海路52キロあり、にしん漁で栄え現在は水産業はこんぶ・うにを作り育てる漁業になり、観光業で約14万人の個人から外国人の旅行者が訪れており、平成５年からは『にっぽん丸』が寄港しており利尻島ロータリークラブで見おくり隊の活動をしながら、町民パークゴルフ大会など町内の行事に参加して親睦を深めています。公式訪問の前の例会では、台湾台北大同ロータリークラブの会長が参加し親善交流会を開き友好関係に発展していくように取り組んでおられます。

常磐井会長の方針である『感謝の心と地域の絆』をモットーに人と人との繋がりを大切にし、奉仕の真心をもち楽しい利尻島ロータリーライフを過ごして地域社会への貢献と奉仕の活動の推進を目標として取り組んでいかれることに意気込みを感じました。限られた短い時間の中、食べた雲丹の味は忘れません。公式訪問に温かく迎えられたことに深く感謝申しあげます。ありがとうございました。

（文責：松岡　真勝　副幹事）

第６分区　帯広南ロータリークラブ

会　　場：北海道ホテル　　会　長：小田　衣代
公式訪問：2018年9月10日（月）　　幹　事：森田かおる

帯広南ロータリークラブは、帯広４ロータリークラブをスポンサーとして1990年4月23日に創立されました。次年度に創立30周年を迎える新しいクラブですが、会員数78名のたいへん活気のあるクラブです。本年は、小田会長をはじめ女性会員８名の全員が執行部に在席、女性会員の活躍が顕著であり、今後についても女性会員の増強に努めるとのことでありました。会長方針である「ロータリーを居心地の良い場所にしよう。そして温かい関係をもたらそう」のとおり、とても華やいだ・温かみを感じるクラブとの印象を受けました。国際奉仕活動では南クラブが窓口となり、ＪＩＣＡと十勝との結びつきを深めることに尽力していく。社会奉仕活動では、帯広動物園の花壇整備・十勝地区障がい者水泳懇話会への協力といった二つの継続事業に取組みしており、これからも地道な奉仕活動を展開していくとのことです。地区補助金の活用にも前向きで、帯広少年軟式野球連盟への備品贈呈を９月に実施されております。活発なクラブ運営が感じ取れる公式訪問となりました。南クラブの皆様、ご多忙のところご対応を賜りありがとうございました。更なるご発展を祈念申し上げます。

（文責：今野　　努　副幹事）

第６分区　広尾ロータリークラブ

会　　場：広尾町商工会　　会　長：石山　泰三

公式訪問：2018年9月10日（月）　　幹　事：尾矢　利昭

広尾ロータリークラブは、昭和３５年３月に発足し、５０年以上の歴史を有する伝統あるクラブで、現在の会員数は２１名を数える。今年度会長の石山会長は３度目の就任となる。

今回の公式訪問では、冒頭、石山会長から「クラブの伝統でもある『思いやりのあふれた、仲間意識の強い集まり』を大切にクラブ運営していきたい」とのクラブ方針が語られた。

当クラブでは、年間を通じ、①ふるさとクリーン大作戦、②広尾町植樹祭への協賛と参加、③広尾町社会祭りへの参加、④広尾わんぱく自然体験塾への協賛と参加、⑤日勝少年野球大会の主催、⑥新入学児童への防犯ブザーの贈呈――など地域ニーズを重視した地域密着型の事業を多岐にわたって実施している。とりわけ「日勝少年野球大会」は、４０年に亘って継続開催される、当クラブの看板事業ともなっており、クラブメンバーにとって誇りともいえる事業で今年も８月4日・５日の両日に開催された。また、今年度は当クラブの目玉事業として、大樹町で進められている民間小型ロケットの開発で全国からも注目を集めるインターステラテクロジズ株式会社のファウンダーである堀江貴文氏を招聘しての講演会を９月２４日に予定している。

クラブ協議会終了後の例会では、地元産の新鮮な海産物をふんだんに使ったお弁当がふるまわれ、終始和やかな雰囲気の中で、会食と懇談をさせていただいた。

（文責：和田　郁夫　副幹事）

第６分区　足寄ロータリークラブ

会　　場：足寄銀河ホール21　　会　長：八重樫　明

公式訪問：2018年9月11日（火）　　幹　事：鷲岡　康照

足寄ロータリークラブは1962年9月に創立され、八重樫明会長のもと、現在29名の会員で活動されており、帯広南ロータリークラブとジョイントクラブの関係にございまして、先月も帯広南ロータリークラブの家族例会に参加されたそうです。

八重樫会長は今年度クラブの目標として会員増強、出席率向上、地域へのロータリー活動のアピールを行っていきたいと仰っておられます。

会員の皆様もベテランの方から若手の方まで会員全員で楽しく活気のある活動をされ、大変団結力のあるクラブである印象を受けました。

今回の訪問に際して食事とアルコールもご用意して頂きましたが、通常の例会は食事なしでの例会運営をされており、月に1度は食事例会を行っているとの事です。

会員増強委員会においては今年度3名の会員増強を目標とされており、クラブ全体での入会候補者の情報交換も盛んに行っておられ、既に複数名の方の入会予定を取り付けているそうです。引き続き今後も候補者に積極的に声掛けをしていくそうです。

親睦活動委員会では足寄町ならではのラワンふき直売家族会等で会員及びご家族の皆さん相互の親睦を図られているそうです。

協議会、例会ともに終始和やかな雰囲気で行われ、中でも協議会における細川ガバナーの総評での「例会出席は義務ではなく、出席する権利がある」というお話しに会員の皆様方が頷かれていらっしゃったのが印象的でした。

食事時には先日の地震の際に苦労されたお話、広大な足寄町に関するお話し等をユーモアを交えながらお話し頂いた八重樫会長、鷲岡幹事をはじめとします、足寄ロータリークラブの会員の皆様方、大変お世話になりありがとうございました。

（文責：中島　慎也　副幹事）

第６分区　上士幌ロータリークラブ

会　　場：上士幌町商工会館　　会　長：佐藤　正彦
公式訪問：2018年9月12日（水）　　幹　事：米倉　昌雄

上士幌ロータリークラブは、１９６５年（昭和４０年）創立。創立時会員３１名でのスタートとなりました。しかし近年は地域内の人口減少、地域内経済状況の変化に伴い現会員数は１５名のクラブとなっています。

佐藤正彦会長の活動方針「会員増強」「会員同志の親睦」「地域社会への協力」「地元企業への協力」の４点を掲げクラブ規模にあった予算計画の中で地域社会への協力（貢献）を大事にされています。地域に対しての貢献に重点を置き　そのひとつとして町民還元事業の餅つき大会、青少年育成の為の上士幌中学校ロータリー文庫への寄贈を毎年度行っています。来年度からは財団の地区補助金を活用する事業を現在計画しています。また、家族を大事にするメンバーの皆さんを象徴するかのような事業。家族親親睦旅行の開催計画があり微笑ましく正に上士幌ロータリークラブだから出来ること。その地域性、クラブ特性を生かし無理なく実践できる事から活動する上士幌ロータリークラブの今後が楽しみであります。

今後も「地域」を大事に。「地域」の為に活躍される貴クラブの発展を心よりご祈念申し上げ会員ひとり一人がお忙しい中温かく迎えて頂いたことに感謝申し上げます。

ありがとうございました。

（文責：及川　　悟　副幹事）

第６分区　帯広ロータリークラブ

会　　場：ホテル日航ノースランド帯広　　会　長：和田　賢二
公式訪問：2018年9月12日（水）　　幹　事：外﨑　裕康

帯広ロータリークラブは１９３５年（昭和１０年）日本国内１６番目、北海道５番目。第２５００地区内第２番目であり９１名の会員を束ねる和田賢二会長は７５代目。歴史と伝統のあるクラブです。

今年度和田会長は『Free　Mind　Rotary　ロータリーを拡めよう』をテーマに掲げられクラブ目標を「四つの拡めよう」１．親睦とコミュニケーション　２．会員を拡めよう　３．奉仕を拡めよう　４．ロータリーの輪を拡めようと目標を立てられました。和田会長が提案する「Free　Mind」自分の心を空にして何でも自由に受け入れることが出来る（中略）何事もとらわれず心を空にして考えることで新しい発想、インスピレーションが生まれます。とバリー・ラシンＲＩ会長のテーマに繋げています。

その和田会長のテーマ、目標を理解し各委員会が役割を把握され事業への意気込みが感じられるものでした。クラブ協議会に於いても理事、委員長からの説明も強い熱意が感じられ活動計画書には会員のロータリー歴、定款、細則、諸規定なども詳細に明記され当年度、昨年度の事業などもこの一冊からすべてがわかる完成度の高い計画書であり、そのことからも規律正しい「伝統」のあるクラブであることが感じられました。

クラブの皆様と同じ時間を過ごすことが出来学びの多い例会訪問になりました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

（文責：及川　　悟　副幹事）

第８分区　中標津ロータリークラブ

会　　場：トーヨーグランドホテル　　会　長：田中　憲司
公式訪問：2018年9月13日（木）　　幹　事：青山　隆志

中標津ロータリークラブのテーマは「60年の歴史に学び、未来の創造は会員増強から」です。60年の節目を迎える伝統のクラブは、本年度も地区の役員としてロータリー財団委員会に笹谷委員長を輩出して頂き、地域にも地区にもしっかりとコミットしたクラブである印象を受けました。

60年の節目に、地区補助金を活用し中標津総合体育館のアリーナに設置した時計塔のお話をされていましたが、30周年には開陽台への幸せの鐘、55周年には東北へ鎮魂の鐘を贈るなど、時代と地域にあった心づかいを感じました。

クラブ協議会では特に国際交流のお話が興味深く、中標津ＲＣでは独自の基金として「乾太助記念国際交流基金」を設置しており、国際交流に長い年月をかけて地道に歩みを続けてこられたということです。幸いにもその基金設立の経緯についても会長や会員の皆様からも詳しくお話を聞くことが出来、中標津ロータリークラブが人の輪や、縁をいかに大切にしてきたかがわかりました。例会のスタート時には全員が握手を交わす「友情の握手」の儀式もあり、特色が鮮明なクラブの訪問に学びの多い一日となりました。

（文責：火ノ川　好信　副幹事）

第１分区　稚内ロータリークラブ

会　　場：稚内サンホテル　　会　長：吉田　幸麿
公式訪問：2018年9月15日（土）　　幹　事：石塚　英資

地震・停電等の影響で急遽日時変更をお願いしたにも関わらず公式訪問例会を快く引き受けていただきました。

クラブの谷原一郎会員が、（海・川の名人）を受章された祝賀会も兼ねた華やかな楽しい例会でした。歴史と伝統を誇りにし、会員のクラブの谷原一郎会員が、（海・川の名人）を受章された祝賀会も兼ねた華やかな楽しい例会でした。

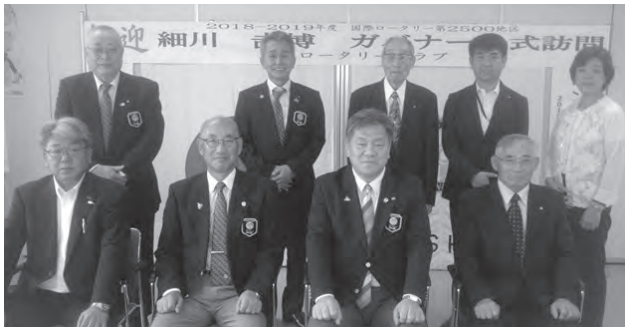
地域特性とはいえガバナー補佐を隔年に出さざるを得ない第一分区の雄としての誇りが言動にそこはかとなく感じられました。職業奉仕の精神がロータリーから無くなりつつある今日、職業分類表には括目すべき一項が目につきました。日本国内のロータリークラブの職業分類表に（地方自治）は見かけますが（政治）が有るのはここだけではないでしょうか、兎に角ユニークさが目立ちました。

（文責：家内　裕典　副幹事）

第１分区　天塩ロータリークラブ

会　　場：てしお温泉夕映　　会　長：水口　俊夫
公式訪問：2018年9月16日（日）　　幹　事：竹内　満弘

日曜開催に急遽変更開催したのはクラブに迷惑をかけたような気がしてなりませせんでした、幹事・副幹事ともサラリーマンで地域奉仕の犠牲者？　奥様まで動員して昼食の用意を頂き本当に有り難く感謝申し上げます。例会場所も移動していただき参加人数も少なくともロータリー活動には熱意が感じられるクラブでした。小さくとも地域と共に生きるロータリークラブの典型を表意しているクラブとして敬意を表したく思いました。



（文責：家内　裕典　副幹事）

第６分区　芽室ロータリークラブ

会　　場：めむろーど3Fレファレンスルーム　　会　長：柴田　　均
公式訪問：2018年9月18日（火）　　幹　事：松山　陽一

芽室町は人口が約１８，７００人で日高山脈の東、十勝平野の中西部に位置し、農地約４２％、山林約４０％で緑豊かな街です。
芽室ロータリークラブは１９６２年３月２５日帯広ロータリークラブをスポンサーに創立され現在会員数が２８名のクラブです。過去には２名のガバナーをはじめとして、分区代理、ガバナー補佐を輩出されている伝統のあるクラブです。
今年度の会長の活動方針は、
１、会員増強と維持活動（現世代及び女性の入会）
２、各事業への積極的な参加（奉仕事業、地区活動への積極的参加）
３、会員相互の交流と活動しやすい環境づくり
との３つのテーマを掲げています。

各委員会活動に於いては会長の方針の下１００％出席例会の開催や会員委員会ではクラブの今のあり方を検討することにより今後の活動に生かす前向きな姿勢が感じられました。またＲＣ杯町内少年野球大会の開催や町の事業にも積極的に協力されるなど地域に根ざした活動を続けておられます。
皆様には今回の訪問を暖かくお迎え頂きましてありがとうございました。
これからもますます活動の輪を広げられクラブが発展されます事をお祈り申し上げます。

（文責：深井　弘美　副幹事）

第６分区　帯広東ロータリークラブ

会　　場：ホテル日航ノースランド帯広　　会　長：益子　裕之
公式訪問：2018年9月18日（火）　　幹　事：池田　　誠

帯広東ロータリークラブは、1984年に帯広北ロータリークラブをスポンサーに創立。

会員数39名。来年には創立35周年を迎える素晴らしい実績を残してきた歴史と伝統のあるクラブでありクラブ内同好会の発足や寒河江さくらんぼロータリークラブとの交流と多くの挑戦をしながら今以上に楽しく強い絆と友情で結ばれたクラブを築いていけるよう会員一丸となり発展に邁進しているクラブでした。

益子会長が掲げる活動方針「前進への挑戦」のもと、「帯広東・音更・北の３RCでの合同植樹祭」など、日々積極的に活動されており特に「同３RCでの公益財団法人十勝ロータリー奨学会」の運営は昭和62年から長きにわたり継続され、奨学金の支給や青少年の育成に支援、協力など地域活性化に大きく貢献し地域に根ざした奉仕活動を永く取り組んでおられます。

そして会員がそれぞれの企業で、職業奉仕精神あふれる人材、ロータリー精神溢れる社員を多く育てており、社員同士が認め合い「職業奉仕賞」の推薦や表彰など活動方針「前進への挑戦」の意向を反映した活動をされており活き活きと地域で活躍されていることに感銘を受けた訪問になりました。

これからのますますの発展をご祈念申し上げ、お忙しい中の訪問に温かく迎えられたことに感謝申し上げます。

（文責：前川　　学　副幹事）

第６分区　帯広西ロータリークラブ

会　　場：北海道ホテル　　会　長：佐藤　　聡
公式訪問：2018年9月20日（木）　　幹　事：小谷　典之

クラブ協議会での会長方針発表なくとも、活動計画書にて拝見≪常識を疑い、可能性に挑戦する≫てか！なるほどねーー、佐藤会長がクラブ幹事時代にＡＤＧとしてクラブ訪問したのは13年前、高林ＤＧの頃か古田委員長にはパネラーとして活躍頂き何かと因縁深き帯西クラブですが、ゴルフ・ヨルフ等々クラブの諸活躍は目を見張る行動力・仲間意識の強い印象ばかりです、活動計画書のご立派なことは2500地区でも１・２を争いますし、各委員長の説明も雄弁・能弁・多弁・駄弁・・・・・諸氏歳歳、この力が実践力・実戦力とならば・・・恐ろしき可能性を秘めていますけども！！若きメンバーのオリエンテーション次第ですね、ロータリー哲学を教え・導く、ベテラン会員の指導力発揮如何です。

（文責：家内　裕典　副幹事）

第６分区　音更ロータリークラブ

会　　場：ハピオ木野２Ｆ　　会　長：村瀬　正明
公式訪問：2018年9月21日（金）　　幹　事：小枝　秀則

6分区内の郡部クラブでは一番若くともメンバー数は最大クラブ、地区に役員にも複数の会員を出していただいていますし、国際大会にも積極的に多数のメンバーが参加されているアクティブなクラブとして市内5クラブに勝とも劣らない実力クラブに成りつつあります。クラブ協議会では外的エネルギー評価が余り感じられない穏やかな印象でした。会員構成が二層構造？との感がしたのは穏やかな会長の好印象のせいかなと・・・例会後の懇親会を予定されてないのにＤＧから要求したのも、公式訪問実質上最後の安堵感と音更クラブのドメスティクな雰囲気からと、有難うございました。

（文責：家内　裕典　副幹事）

ゴシップ　お勧めのお店紹介

士別ロータリークラブ様よりご紹介頂きましたとっておきのお店をご紹介いたします。

寿司処　久光

こちらのお店は創業４８年になり、ご夫婦で経営されていらっしゃいます、もう少しで古希を迎えられるそうです。お店に入りましたらご覧の通りにこやかに迎えて頂きました。

アットホームなお店でお酒と共に会話もすすんでしまいます。もちろんお寿司もおいしいですが、ガバナーのお勧めはレアな金滴をホッピーで割って飲むのが最高とか・・

士別に来られた際は是非行って見てください。

住所：士別市 大通東 4
電話：0165-23-3006

世界の名酒バー　団

こちらのお店はママお一人でやっていらっしゃるお店です。

お店へ入るや否や数百種類のお酒が目に飛び込んで来ます。なかなかこれだけのお酒を置いているお店は少ないのでは、必ずお好みのものが見つかるはずです。また、ママに好みを言いお酒をチョイスしてもらうのもいいですね。カウンターでゆったりとした時間を過ごして見てはいかがでしょうか。

住所：士別市大通り東６丁目
電話：0165-23-2507

北海道2500ロータリーEクラブ

広報・地域ＩＴ推進委員会
委員長 高橋広昭

2500地区には、インターネットを活用したロータリークラブ、北海道2500ロータリーEクラブがあるのはご存知でしょうか。
Eクラブとは、インターネットで例会をするロータリークラブです。
http://hokkaido2500rotaryeclub.org/

現在、全国から多くのロータリアンがメークアップでEクラブを活用して頂いており、月に述べ250回以上、メークアップ証明書を発行しております。メークアップ証明書の発行は24時間365日可能です。
インターネットを利用できる端末（パソコン・スマートフォン）と、VISA／MASTERのクレジットカードの二つが必要となります。（ガラケーと呼ばれるフィーチャフォンには対応しておりません）
つまり、スマートフォンさえあれば「いつでもどこでもメークアップが可能」です。あるロータリアンから「海外出張中にメークアップできて便利」とメッセージをいただきました。

メークアップの手順ですが、非常に簡単です。

1.「メークアップ」ボタンからメークアップの議題に対する投稿を記入するページへ移動してください。（メークアップはログインの必要はありません）

2.議題に対して100文字以上、2000文字以内で意見等を投稿してください。
その際に、氏名・メールアドレス・所属クラブをご記入ください。

3.メークアップ証明書の発行手数料として￥500（税込）が必要となります。
お支払方法はクレジットカードのみの決済となります。そのまま決済処理ページへ進みお手続き下さい。

4.クレジットカード決済処理が完了しましたら、投稿いただいた際のアドレス宛にメークアップ証明書（PDF）を添付したメールを送付させていただきます。
決済システムの都合上、メークアップ証明書が添付されたメールが届くのに約10分程度のお時間をいただく場合がございます。

5.送付された証明書をプリントアウトし、所属クラブで手続きをしていただければメークアップは完了です。

所属するクラブの例会に出席する事を最優先とし、急な出張やご病気など、どうしても出席できない場合、出席補填する一つの方法として頭の隅に置いていただければと思います。

【マイロータリーの登録】
マイロータリーの登録済ませてますか？
国際ロータリーでは、マイロータリーの登録を強く推奨しております。マイロータリーの登録は10分程度で完了します。
以前よりホームページのデザインが見やすくなり日本語での記述が多くなっておりますので、一度諦めてしまった方も登録できると思います。

1.マイロータリーにアクセスします。
https://my.rotary.org/

2.最上部右側に【アカウント登録】というのがありますのでクリックしてください。

3.登録はローマ字入力となります。
メールアドレスに本人確認のメールが届きますのでお間違えのないように入力してください。すぐに確認できるメールアドレスが好ましいです。
また、ご自身のロータリークラブの会員IDが必要となりますので、すぐ確認できない場合は事務局や幹事などにご相談ください。

4.登録したメールアドレスに、本人確認のメールが届きますのでリンクをクリックしてください。

マイロータリーはロータリークラブの活動において非常に便利なホームページです。
クラブを運営するための必要な情報をはじめ、オンライン寄付や財団の認証ポイントの確認も容易にできます。
また、世界中のロータリアンとも繋がれるので、新しいアイデアなども手に入りやすいでしょう。マイロータリーを活用してロータリーの事をもっと好きになってください。

所属するクラブのマイロータリー登録数が少ないのであれば、実際にマイロータリーに登録してみるプログラム・例会などを開いてみるのはいかがでしょうか。
私が所属している北海道2500ロータリーEクラブでは、会長・幹事をはじめ会員の協力と理解のもと、マイロータリー登録率を100％にできました。

周りに「マイロータリーの登録のやり方がわからない」という会員がいましたら手を差し伸べてください。困っている・悩んでる会員のインスピレーションになってください。

ライラセミナー

RI2500地区ライラ委員会
委員長 本山忠之
（士別ロータリークラブ）

士別ＲＣのホストクラブによる「第３８回ＲＩ第２５００地区２０１８～１９年度ライラセミナー」が、去る９月１～２日に士別グランドホテルで開催されました。

セミナーの参加者は青年６０名、引率ロータリアン４０名の総勢１００名の登録をいただき、ライラ委員会はもとよりホストクラブお担当いたしました士別ＲＣとしても皆様の友情に厚くお礼を申し上げます。

また近在近隣をはじめ、遠方の参加者の方には早朝５時前に地元を出発された方も居られ、そのご足労に深く感謝申し上げます。

セミナー初日は正午より登録・受付となり、開講式は午後１時から始まりました。

細川吉博ガバナーの点鐘につづいて片庭隆暁ライラセミナー実行委員長、細川ガバナー、佐藤元保士別ＲＣ会長の歓迎の挨拶があり、来賓としてお迎えした士別市長の牧野勇司様には士別のＰＲをまじえたロータリーへの期待と参加者への激励のお言葉をいただきました。

今回のライラセミナーのテーマは、［北国の地方創生］（地域の未来のために）です。私たちの住む地方は今、人口減少・高齢化などによって経済、文化なども含め構造的に衰退していく状況であります。この難局への打開を図るべく、青年たちに豊かで斬新な発想を掘り起こしてもらい、今後のまちづくりに取り組む視点を提起してもらうことにありました。

最初のプログラムとして、士別市のまちづくりの核の一つでありますサフォーク運動を通じて建設された施設の視察を行いました。　士別市街を一望する広大な丘陵地で羊が飼育され、牧羊犬による羊追いの様子や羊の毛刈りショーを見学し、また世界のめんよう館では多くの珍しい羊と触れ合いを体験いたしました。これらは多くの参加者から好評をいただきました。

テーマにそった基調講演では、講師に札幌学院大学商学部教授の河西邦人氏を迎え、日本各地の地方において実践されている町づくり（経営）のその立ち上げから成功へと導く手法を、実例を示しながら詳しく講義していただきました。その話の内容は、参加者に多くの示唆を与えてくれたのではないかと思います。

過密なスケジュールの中、休憩もそこそこにグループディスカッションが始まり、懇親会は午後７時開始となりました。今回のセミナーでは多少の不安もありましたが、気分を和らげてもらおうとお酒を提供をすることとしました。士別の代表的な味をＰＲするために羊の丸焼きをお出ししましたが如何だったでしょうか？

懇親会後もディスカッションがあり終了が午後１０時となりましたが、青年たちは時間を忘れさせてくれるほど真剣な表情で意見を交換し、熱気に満ちたものでありました。なお終了後は会場の都合で宿泊は移動となり、夜の遅い時間となってしまい、参加者の皆様にはご不便をおかけしました。紙上をお借りしてお詫び申し上げます。

二日目は早朝より全体会議を開き、各グループごとに意見発表と続きました。それぞれのグループから独自のテーマにそった提案がいくつもなされました。その前向きな意見を今後のまちづくりにどのように相応させていくか、これもまたロータリーの会員に課せられた使命ではないでしょうか。意見に対する河西氏による総評もあり、意義深いセミナーになったのではと思います。

また第２５１０地区からも参加頂き、今後も交流の機会が増えることを願います。

最後に、あらためまして多くの皆様のご協力に感謝申し上げ、セミナーの報告といたします。

Rotary RI 第2500地区 2018-2019
RILA ロータリー青少年指導者養成プログラム

RILA
SHIBETSU
JAPAN

RILA
「北国の地方創生」

RILA ロータリー青少年指導者養成プログラム
RILA
B

A
D

RILA
ライラセミナーin士別

ミャンマー・カレン族支援プロジェクト

RI2500地区
ロータリー財団委員長　笹　谷　芳　夫
（中標津ロータリークラブ）

「歴史と背景」

２０１６－‘１７年度（駒形ガバナー年度）に始まった、タイ国境に近いミャンマーの少数民族カレン族の住むカモール村でのプロジェクトの報告を致します。ミャンマー国境沿いに住むカレン族は４００万人とも言われるミャンマーの多くの少数民族の中の一部族です。

彼らは様々な理由で英国統治時代に統治の重要ポストを与えられ、有能な青年は英国本土へ次々と留学をさせてもらい、帰国後は植民地統治政策での重要任務を与えられました。その下に甘んじていた多くのビルマ族は第二次世界大戦後独立、今度はカレン族を攻撃しはじめ内戦状態に陥りました。山奥にどんどん追い込まれたカレン族はタイの国境を越えて難民としてタイに居住するものも多数出てきました。勇猛果敢なカレン族はカレン民族同盟（ＫＮＵ）という軍隊をもった組織を編成し、ビルマ正規軍との度重なる内戦の末１０万人規模の難民がタイ側に流れ込んだ。ＫＮＵ本部はビルマ正規軍に掃討されたとされているが、我々の実感では一定の自治権を付与した自治領として認めざるを得なくなっていると感じている。実際にビルマ正規軍との戦勝記念塔も建設されていた。

「帰還事業」

正確な数もわからないタイ国内に住むカレン族、その他の多くの少数民族は国連の保護の下にミャンマー・タイ国境沿いに難民キャンプをつくり、低賃金労働者としてあるものはタイの工場に職を得るもの、また純粋な意味での難民とはいいがたいが、いわゆる経済難民がタイ国側に多数居住しており、劣悪な生活環境のもとに暮らしている実態がある。近年はアジアのラストフロンティアとしてミャンマーの国家としての地位もあがり、産業も発達しはじめ数多くの難民が本国に帰還しはじめまたが、その数はいまだ微々たるものであり、少数民族出身者には目に見えない差別が中央政府により行われていると側聞しております。この数年大量の難民と虐殺を含むロヒンギャ問題がクローズアップされています。一部分は民主化されたとはいえ、実態はミャンマー正規軍による軍政下にあると言って間違いないでしょう。

「きっかけ」

カレン族が英国統治時代に優遇を受けたという理由のひとつに彼らの祖先から代々伝わる神話に基づいて、キリスト教に集団改宗した村々が沢山あり、その中のひとつにメソジスト派の教会を持つカモール村があります。タイのカンチャナブリー市から峠ひとつ越えて約1時間半ほどミャンマー側に入った地点にあります。同じ会派の信者つながりで、マレーシア・クアラルンプール市にあるアンパンＲＣにカモール村開発の為の支援要請があり、マレーシア３３００地区と姉妹地区でもあるタイ王国３３３０地区にも協力要請をしてきました。

概略は国境沿いに住むミャンマー難民の本国帰還促進事業のモデルケースとしてカモール村を整備し、そのノウハウを駆使して将来は3万人規模の人々が生活できるパイロット事業との位置づけです。あまりにも壮大な事業内容であり、また実際に来年度より日本のＯＤＡ２，０００億円がつぎこまれ、バンコク（タイ）～カンチャナブリー（タイ国境）～ダウエイー（ミャンマーの港）を直接結ぶ幹線道路とその周辺の整備が計画されています。この計画が完成すれば物流面では画期的事業で、マラッカ海峡からシンガポールを経由せずともカンボジア～ベトナム経由して物資が運搬されます。

ミャンマー難民の帰還促進事業のパイロット事業として、カモール村の事業はまず小学校・中学校の建設。上水道の整備および農業用水の確保。遠隔地から通学する為の子供達

の為の寄宿舎建設。教会建設。病院建設、営農指導等々延々と続きます。駒形年度に四国の２６７０地区と共同で学校建設の為の4万５千ドルのうち不足資金への充当として両地区７，５００ドルの均等分割で、合わせて1万５千ドルを拠出しました。当地区はリソーストサポート委員会の特別会計から資金拠出をお願いいたしました。最終的に中学校を4万５千ドルで建設終了しておりますが、本年５月の訪問した時にはまだ飲料水その他の周辺整備が出来ておらず、当座の事業終了とは断言できる状態にはありませんでしたが、まずは一区切りといったところでしょうか。2年間一緒にミャンマーへ行った四国の篠田委員長は、元来の仕事がＪＩＣＡがらみの仕事をずっとしていた為、こういった分野的にも大変明るくまた人脈もあり、水道関連の施設設計とアイディアは彼から出されたものです。川沿いに約６０メートルの井戸を掘りそれをソラーパネルを電源として山の上までポンプアップし一旦タンクに貯蔵、その後、学校や各家庭に自重水圧で給水する。また余った水は農業用水として提供するというものです。

昨年、当地区が関与したのは壮大な事業の中の学校建設の一部の資金負担だけでしたが、四国２６７０地区からは、前田ガバナーご夫妻と篠田国際ファンド地区委員長、当地区からは駒形ガバナー、成瀬ガバナーエレクト、そして私と参加しました。本来はもっと早くに報告をすべきではありましたが、何事もスローな現地の習慣に流されて今になりましたこと、心よりおわび申し上げますと共に、現地事情は大変長い歴史の変遷の中で流れるように時が過ぎていっているということもご理解賜りたいと思います。ロータリーとしてどこまで関与できるのか、もしくはどこをもって限界とすべきなのかの判断は大変難しいものがあります。

個人的にも大変興味がある事業であり、ロータリーという枠組みに固守せずＪＩＣＡ等を含めた他団体との接触も考慮に入れて活動してゆくつもりではありますが、各団体が複雑に絡み合う場面も十二分に想定できますので、慎重にも慎重に事を進めて行きたいとと思います。この事業の進行の中で、もしロータリーにふさわし事業等があればロータリーに紹介しなんらかの支援をしていただくようにする形がよいのではないかと思っております。これまでの2年間の足跡をたどる写真も参考にしていただきたいと思います。

２０１７年５月訪問
駒形ガバナー、成瀬ＧＥ，笹谷財団副委員長、
２６７０地区前田ガバナーご夫妻

２０１８年５月訪問
笹谷財団委員長、
２６７０地区篠田国際ファンド地区委員長

ＫＵＮ事務所（国旗の違いに注目）

２０１７年夏の開校式（カレン民族同盟軍に守られて）

2018-19 年度の事業進捗状況

RI2500地区リソースとサポート委員会
委 員 長　河　﨑　髙麗男
（旭川モーニングロータリークラブ）

①前年度の収支決算報告。

多くの事業を抱え事業費 3,492,332 円となり今年度の繰越金が 690,667 円と成る事を報告。

②ロータリー財団委員会に国際奉仕委員長、リソースとサポート委員長がオブザーバーとして出席、今年度の事業推進について情報を収集した事を報告

③予算と事業の見通しについて

・D3330・スラタニー RC（教育）本棚と図書設置、読み聞かせ教師のトレーニング現地訪問 2 名現地訪問 100,000 円承認

・D3330・プーケット南 RC（教育）（タトワトゥン）幼児・小学校識字率の向上文具の 提供事業。（DDF）　スポンサー C：旭川西 RC

・D3320・ソロ RC（衛生）（GGP）公衆トイレの設置事業
スポンサー：音更 RC　D2840 鹿屋 RC

・D3440・バリ・タク RC（病気予防）（GGP）血液銀行機材提供事業
スポンサー C：旭川モーニング RC

・D3330・ラチャブリ RC（教育）（GGP）図書館事業
スポンサー C：帯広北 RC

・D3330・トラン RC（教育）（GGP）図書館設置事業
スポンサー C：募集中

・D3330・カンチャナブリ RC（GGP）スポンサー C：募集中

・D3300・アンパン RC VTT 訪問結果フィルドバック出来るような事業（GGP）
スポンサー C：募集中

④2500 地区と他国地区の事業の推進状況、

・D3330・プーケット市内の 3 クラブ＋マレーシアの 1 クラブ＋香港 1 クラブの 5 クラブ・D2500 の 4 地区の合同事業（GGP）5,250$ を承認

・他地区からの共同事業支援の要請も有りリソースと サポート委員会として財団委員会と密に連携を取りながら事業を推進して行く事とした。

・地区への要請で（GGP）の受入れの未定が有るがガバナー補佐の協力を得て各分区クラブに要請しては如何かと話題もあり。

「愛の鐘」設置事業

美幌ロータリークラブ
幹　事　丸　山　俊　夫

「愛の鐘」は、美幌町民憲章の一節にある、「わたしたちは、美幌峠を仰ぎ愛の鐘の鳴りひびく、美幌の町民です」という言葉を実現させようと、我がロータリークラブは、ロータリー財団の地区補助金などを活用し設置しました。

市街地を一望できる「愛の鐘」は、町内の幼稚園で長年使用されていなかった平和の鐘を譲り受け、高さ5mの鉄製のモニュメントに取り付けられました。

贈呈式で土谷耕治町長は、「愛の鐘がこのまちに根づくことを期待します」と感謝の言葉を述べ、山中敏文会長、土谷町長、関係者らがテープカットを行いました。

引き続き、幼稚園の園児らが鐘を鳴らし、森林公園の中で鳴り響く鐘の音に、「大きい音だねー」とびっくり。

美幌ロータリークラブは、この愛の鐘の前で結婚式を挙げることや、カップル、夫婦など年代を問わず、多くの方に親しまれる美幌のシンボルになってもらいたいと願っています。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

2018.10.12

Vol.223

台湾米山学友会から災害義援金が届きました

9月上旬、日本列島は台風21号と北海道胆振東部地震に相次いで見舞われ、各被災地のインフラは大きな打撃を受けました。台湾米山学友会では9月8日の役員会にて、全会一致で募金活動を決定。約3週間で28万6,500元（約105万円）を集めました。この義援金は、当会を経由して、第2660地区と第2510地区に送られる予定です。同学友会の呉憲璋理事長は「今回の台風と地震による被害に我々は皆、大変驚き、直ちに募金を開始しました。台湾米山会一同、一日も早い被災地の再建と復興を心より祈っております」とのメッセージを寄せてくれました。

よねやま親善大使の紹介ＤＶＤが完成

今年7月に任命された第3代よねやま親善大使の紹介動画と、それを収録したＤＶＤが完成しました。動画は、当会ホームページの『米山奨学会紹介ビデオ』のページから視聴できます。また、ＤＶＤをご希望の方には無料でお送りします。

すでにさまざまな地区の米山記念奨学セミナーなどに、よねやま親善大使をスピーカーとしてお招きいただき、ご好評を得ています。

よねやま親善大使の招へいをご希望の際は、米山記念奨学会事務局・広報担当までご連絡ください。

寄付金速報 ― 米山月間へのご協力をお願いします

9月までの寄付金は前年同期と比べて4.6%減（普通寄付金:0.06%減、特別寄付金:9.9%減）約1,850万円の減少となりました。

前年同期は、当財団設立50周年の記念寄付を多くいただいていたために上記の減少額となりましたが、7月からの累計額としては2014～2016年度並みで、順調に推移しております。皆さまからのご寄付に深く感謝申し上げます。

10月は米山月間です。日本のロータリーがつくり育てた独自の米山記念奨学事業を、引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました

このたび、当会は内閣府賞勲局より、公益のために私財を寄付し功績顕著なる方々へ授与される「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました（平成30年9月12日付）。これにより、本年9月12日以降、個人では500万円以上、法人・団体等は1,000万円以上を当会にご寄付いただき、定められた条件を満たす場合に、紺綬褒章授与申請の対象となります。

ご寄付を複数回に分けて分納される場合も、あらかじめお申し出をいただいた場合には、申請の対象となります（分納期限の制限はございません）。詳しくは米山記念奨学会事務局までお問い合わせください。

※認定日（平成30年9月12日）以前のご寄付については申請の対象外です。分納分に含めることもいたしかねます。何とぞご了承ください

4年目を迎えた山の小学校支援　― 上海 ―

上海を拠点とする中国米山学友会が、甘粛省臨洮県の苟家山小学校へ奉仕活動を実施しました。同県県長を務めていた学友、柴生芳さんの逝去をきっかけに始まった同校への支援も今年で4年目。これまでに、図書室やパソコン、浄水設備の寄贈などを行っています。

今年は9月2〜3日にかけ、劉京榕前会長、

楊永平副会長、周峰幹事の3人が遠路はるばる山岳地帯にある同校を訪問し、先生から子どもたちの日常をヒアリングしたり、子どもたちと遊びながら交流したほか、各学年から選抜された前期期末試験優秀者計18人の児童に奨学金を手渡しました。加えて、難病で闘病中の子どもへ特別支援金を授与しました。平日は教師として、週末は自宅に戻って畑仕事と、休む間もなく働く先生方にも保温マグボトルをプレゼントしました。

今後、同学友会では、10月でも最低気温が0℃以下となる冬季の暖房設備や、土砂崩れによってたびたび寸断される道路の問題について検討し、子どもたちの教育環境をさらに整えていきたい、と話しています。

交流を通じて深める“実感と理解” ― 第2590地区 ―

4月採用の米山奨学生にとって、約半年が過ぎました。この間、各地区では、奨学生に日本文化やロータリーへの理解を深めてもらおうと、地区米山記念奨学委員会や学友会の主催でさまざまなイベントが企画されています。

第2590地区（神奈川県横浜市・川崎市）では9月1日、恒例の日帰りバス旅行を実施。米山奨学生や学友、世話クラブのカウンセラーや会長など、総勢約120人が参加して、国営ひたち海浜公園の散策とメロン狩りを楽しみました。同地区は1995年度以降、ほぼ毎年、個人平均寄付額全国1位で、会員に占める特別寄付者の割合も全国4位の高さですが、「このような地道な交流の積み重ねが当地区の寄付文化を支えています。バス旅行にはカウンセラー以外のロータリアンやガバナー補佐にも多数ご参加いただき、奨学生と一日ゆっくり過ごして米山記念奨学事業を実感しながら、さらに理解を深めていただいています」と、同地区米山記念奨学委員長の一樂祥子氏は語ります。また、実行担当の地区米山学友委員長 楠美憲輔氏も「この事業の目的は人材育成であり、寄付はそのための“生みの親”です。今後は学友の育成面にも力を入れて、良い循環をつくっていきたい」と話してくださいました。

〜 海外米山学友会総会のご案内 〜

韓 国　2018年**11**月**17**日（**土**）17:00〜
会場：ソウルパシフィックホテル2階 南山ホール
申込：yoneyama@hanmail.net へ(締切:10月31日)

台 湾　2018年**12**月**1**日（**土**）受付14:30〜
（総会15:00〜、懇親会18:00〜）
会場：サンライズゴルフクラブ（桃園揚昇高爾夫球場）、申込：rotary_yoneyama@yahoo.com.tw へ

【その他 日程確定分】
・マレーシア：
2019年2月24日（日）
・ミャンマー：
2019年3月3日（日）

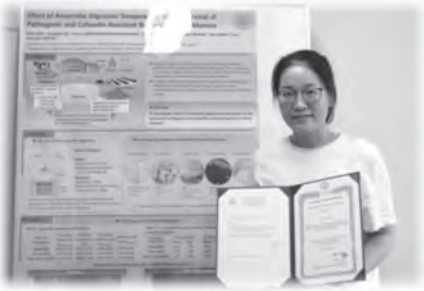
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

これまでの日本留学の成果について

米山奨学生　潘　志飛

米山記念奨学金をいただいてから暮らしはどんどん変わって来て研究や国際交流事業にたくさん成果を取得しました。

後期課程では現在問題となっている畜産環境における病原菌や薬剤耐性菌の出現の対策として、発生源と考えられる畜産廃棄物を嫌気発酵処理し、その有効性をこれまで検討してきました。この研究成果は今年7月14日(土)、15日(日)に、愛媛大学で開催された日本水環境学会(WET2018)において「Effect of Anaerobic Digestion Temperature on Survival of Pathogenic and Cefazolin-resistant Bacteria in Dairy Manure（乳牛糞尿中に存在する病原菌とセファゾリン耐性菌の生存に与える発酵温度の影響)」が「WET Excellent Presentation Award」を受賞しました。また嫌気性消化液に含有する植物病原菌拮抗細菌により土壌病害を防除する利点について明らかにし、その結果は筆頭作者として国際誌（Animal Science Journal）に「Potential of anaerobic digestate of dairy manure in suppressing soil-borne plant disease (in print)」が掲載されました。



研究課題を進んでいるほか国際交流事業も積極に参加しました。先週，国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）主催による「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）科学技術体験コース」を実施しました。帯広畜産大学と中国農業大学のつながりとしてこの活動を参加に出来てとても嬉です。実施期間中に両大学の通訳になって色な研究成果の報告や意見を交換しました。今回の交流を通し，バイオガスプラントはこのような畜産廃棄物由来の汚染物質を浄化する作用を有するとともに，処理残渣効果的に処理し堆肥や液肥などの有機肥料として農地へ還元する事でバイオマス資源の循環を実現する技術であるという認識を高めることが出来ました。今回の事業をきっかけに今後も交流を継続して大きな研究成果に繋げるを喚起しようと思います。

日本と韓国の架け橋

米山奨学生　チョン・チャンヤン

私は韓国から来たチョン、チャンヤンと申します。

私は北見工業大学の修士2年生で、米山奨学生としては北見東ロータリークラブにお世話になっています。

私は小さい時から将来研究者になって、自分の能力で社会に貢献したいと思っていました。

韓国の大学での専攻は工学系分野の中で、重要な「材料」分野を選択し、この分野の研究者になる夢を持っていました。

大学に在学中は、世界を舞台に活躍する人材になりたかったので、世界共通語の英語の勉強を必須だと強く感じました。

その為、私の韓国の大学と姉妹校であるアフリカのウガンダにある大学へ一年間語学留学をし、英語能力の向上に努めました。韓国の大学を卒業した後、さらに日本で勉強をすれば、韓国より

（ロータリー子供衛星教育ボランティア）

高い水準の材料研究ができ、将来、社会へ貢献できる研究者になる事が出来ると考えて日本への留学を決意しました。

しかし、韓国にいる両親は留学に必要なお金の支援が難しい状態だったので、入学後日本の生活にかかるお金の問題を解決するため、週 4 回以上バイトをしました。すると自然に学校や日本語の勉強に集中することが難しくなりました。この問題を解決し勉強に集中する環境を作るために、私は奨学金を心から望んでいます。

（カウンセラー松原さん）

今では北見東ロータリークラブの米山記念奨学生させていただき、また、北見東ロータリークラブの皆様や私のカウンセラーして下さる松原さんには日本の色々な事を教えてもらい、お父さんのように接してもらっています。それにより、それまでのバイトをやめて、学校の勉強や実験に集中することができています。その結果、研究として良いデータが得られ、日本国内の学会に 3 回、国際の学会に 1 回参加し、また、これから 2018 年 10 月にアメリカにある学会に参加して、研究報告をする予定があります。さらに、私が望んでた北見工業大学の博士進学受験を受けて合格することができ、日本語としては日本語能力試験 N2 に合格することができました。

これら全てのことについて、ロータリークラブの支援が無ければ出来なかったと思っています。

北見と言う町は冬は寒いですが、ロータリークラブの皆様との出会いができていつも暖かいジャケットを着ているようでした。他国で、暖かい心でお父さん、お母さんのように私のことを見守ってくれる皆様にこたえて、これからももっと頑張って日本と韓国の架け橋になる人材になりたいと思います。

本当にありがとうございます。

（日韓親善協会の活動）

ポリオ撲滅キャンペーン

9 月 2 日（日曜日）　清里町において第 39 回ふるさと産業まつりが開催されました。

今年はゲストに歌手の伍代夏子さん、お笑いのどぶろっくさんを招き、来場者は 8,000 人を超え、大盛況でした。ふるさと産業まつりに合わせ、当清里ロータリークラブではポリオ撲滅運動の一環として、ポリオ撲滅募金活動を行いました。来場者が多いこともあり、70,000 円の善意が集まりました。来場者皆様の善意に会員一同暑さも吹っ飛びました。募金をしていただいた方々には本当に感謝いたします。

清里ロータリークラブ会員一同

広告の募集

ロータリーの友委員会
地区代表委員　石　岡　幸　雄
（帯広北ロータリークラブ）

『ロータリーの友』では広告を募集しています

日本全国で９万人いるロータリアンの手に届く『友』に広告を載せませんか。

ロータリーの友委員会では広告の掲載に当たって、「広告倫理綱領」「広告の責任の所在」「広告の掲載権」を定め、これに従い広告を募集、掲載しています。

広告の基準に関しては、全般規定のほか、医薬品等（医薬品、医薬部外品、化粧品、医療器具）の広告、健康関係の広告、政治的な主張や政党・選挙関係の広告および特定の宗教を宣伝する広告、タバコの広告については特記事項を定め、広告倫理規定および全般規定に抵触するおそれのある場合は、友委員会で検討します。

なお、通信販売、訪問販売、連鎖販売取引など特定商取引、金融、投資関係の広告、結婚紹介、結婚相談、求縁などの広告、ゴルフ場、レジャークラブの会員募集の広告、老人施設、介護施設などの広告、不動産に関する広告については本委員会が妥当と判断したものに限り掲載します。

料金表（税別）

スペース			料金
表２	カラー		680,000 円
記事中	カラー	１ページ	600,000 円
	カラー	２ページ	1,200,000 円
	カラー	1/2 ページ	320,000 円
	モノクロ	１ページ	360,000 円
	モノクロ	1/2 ページ	200,000 円
	モノクロ	1/4 ページ	120,000 円

※モノクロは写真またはロゴ２点のみカラー可

広告掲載に関するお問い合わせは――
（株）駿河台広告社　ロータリーの友誌取り扱い代理店
〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3-16
Tel. 03-3292-2801　Fax. 03-3292-2803　メール　info@surugadai.co.jp

Rotary
Zones 1 & 2 & 3
コーディネーター
NEWS
2018年11月号
発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■ 「マイロータリーを活かす」

第2ゾーンの公共イメージ・コーディネーター就任に当たって、この3月にエバンストンで3日間の研修を受けた。世界の各地から44名のロータリーコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーター、公共イメージコーディネーターが同時に参加した。朝の9時から夕方までのハードな研修であったが、一つ強く印象に残っていることがある。研修の流れはガバナーエレクトの国際協議会でお馴染みの全体会と分科会が交互に行われるものであった。
その分科会の各セッションで扱う様々な設問に対してファシリテーターは必ず導入部分で「この問題の解決にあたって、リソースに何がありますか？」と異口同音に語ったのである。以来、私が所属する第2610地区のRLIのセッションでその質問を用いてみた。確かに問題解決にあたってリソースを意識することは基本的かつ大切なことと思われる。参加者の挙げるリソースの中に、ガバナー、パストガバナー、RI理事、元RI理事、クラブ会長、元クラブ会長、ガバナー補佐、地区委員長などの人的リソースがあったが、全ての参加者が挙げたのはマイロータリーであった。それ位世界のロータリーにおいてマイロータリーは情報ツールとして認知されている。
しかるに日本においては決して有効に活用されているとは言えない。残念ながら私が所属する第2610地区は10％（今年7月の登録率）を切っている。その中にあって40％を超える地区が4地区存在する。高い順に挙げると第2530地区（48,95％）、第2660地区（46、94％）、第2750地区（43、48％）、第2820地区（40、24％）である。因みに、バリー・ラシン会長は登録率60％を目標として掲げられている。
今、ロータリーは以下の3つの質問に答えることが求められている。「ロータリーとは何か」、「ロータリーは他の団体とどこが違うのか」、「ロータリーはなぜ必要なのか」である。
どれもロータリーの存在理由を明らかにする根源的な問いかけである。
一見難しく思える問いであるが、マイーロータリーを覗いていると一応答えらしきものが浮かんでくるから不思議である。
会員登録率アップに向けてガバナー始め地区指導者の一層のご理解と推進をお願いする次第である。

第2ゾーン　ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生好春（野々市RC）

■ 「BE THE INSPIRATION」

本年度、バリー・ラシンRI会長は会長テーマとしてBE THE INSPIRATION（インスピレーションになろう）を掲げられました。
世界大会の帰路、成田空港で見たのは下の写真です。「インスピレーションになろう」は日本語として理解しにくいですが、既に、いろんなところで使われていることが解かりました。
あわせて、次のとおり新ビジョン声明が発表されました。
「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」
ロータリーは組織でありますから、企業体と同様に理念、目的、目標があります。ロータリーの目標は戦略計画であります。
1　戦略計画には、根幹をなす、**ミッション・ビジョン・バリューが**あります。
2　新**ビジョン**は戦略計画において、ロータリーが未来に実現しようとする、なりたい、ありたい姿です。
3　**ミッション**(任務)は、私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために
4　**バリュー**(共通価値観) 人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。
以上のように分けて考えたほうが理解し易いと思いますがどうでしょうか
持続可能な良い変化については、イアン Ｈ．S. ライズリー前RI会長の言葉が参考になります。
持続可能な奉仕とは、ロータリーの直接的な参加が終了した後も、その活動が長期的に良い影響を与え続けることを意味します。ポリオを撲滅することは、持続可能な奉仕の中で究極のものです。
新ビジョンを理解し戦略計画を持っていることは、変化に対応し、未来の計画を立てる上で大変重要です。クラブ、地区がロータリーの戦略計画に沿った目標を立て其れを推進していくことが会員の積極性、満足度を高める事になります。

第2ゾーン　ロータリーコーディネーター補佐　剱田廣喜
（高山中央RC）

（写真の説明）
Inspiration of JAPANの意味は、日本的なおもてなしの心とか、礼儀正しいサービスとか、先進の技術とか、そういう日本の良さを強調したいようです。
特に海外では「ANA」だけだと、どこの国の会社か分からない人もいるので、日本を強調したいようです。

『2019 ロータリー国際大会』へご参加のお誘い

国際ロータリー 第2500地区

２０１９年の国際大会は、ドイツ・ハンブルグで開催されます。第２５００地区オンツー委員会では、細川カバナーと共にロータリー国際大会への旅行を企画いたしました。
ひとりでも多くの皆様がご参加下さいますようにご案内いたします。
近日中に、各クラブへパンフレットをお送りいたしますのでご検討下さい。
（パンフレットの中に、国際大会への登録方法も記載しております）

旅行期間／ 2019 年 5月31日（金）～ 6月6日（木） 7日間

◎募集人数／３５名　◎最少催行人員／２０名　◎添乗員同行
◎利用航空会社／フィンランド航空　◎ホテル／レオナルドホテル ハンブルグ ノードシティ
◎食事／朝食５・昼食１・夕食１回付
◎旅行代金／おひとり（2名1室利用）**458,800 円**（1名1室利用の場合は、おひとり 81,000 円追加）

帯広空港・釧路空港・旭川空港・女満別空港～羽田空港間は、日本航空で、片道 5,000 円の追加でご利用いただけます

◎旅程／集合場所　成田空港

スケジュール

5／31（金）	成田空港 11：00 からフィンランド航空でヘルシンキ空港 15：00 へ ヘルシンキ空港 17：30 で乗り換えてフィンランド航空でハンブルグ空港 18：30 へ専用車でホテルへご案内します
6／1（土）	ホテルで朝食後、専用車でハンブルグ市内観光へご案内いたします。 昼食後、《国際大会》会場で、参加受付を行い、会場を見学いたします。修了後、ホテルへお送りいたします
6／2（日）	ホテルで朝食後、専用車で国際大会会場へお送りします ［国際ロータリー国際大会ご参加］修了後、ホテルへお送りいたします。 ホテルで、《国際ロータリー第２５００地区ナイト》を開催いたします
6／3（月）	ホテルで朝食後、この日は、分科会ご参加、市内観光などお好きなようにお楽しみ下さい ～（オプショナル）古都リューベック、バルト海の保養地トラヴェミンデなどへのオプショナルツアーをご用意しております（別代金）～
6／4（火）	ホテルで朝食後、お買い物市内観光などお好きなようにお楽しみ下さい ～（オプショナル）北ドイツの美しい街並み、シュターデやヨークを訪れます（別代金）～
6／5（水）	ホテルで朝食後、専用車でハンブルグ空港へご案内します ハンブルグ空港 13：00 からフィンランド航空でヘルシンキ空港 15：50 へ。ヘルシンキ空港 17：30 で乗り換えて成田空港へ
6／6（木）	成田空港到着 8：55。お疲れ様です！

◎稚内空港、中標津空港、紋別空港など国内線を全日空、エアドゥご利用の場合はご相談下さい
◎ご自分の航空会社マイレージご利用の場合は、ドイツ国内のホテル、送迎等だけでもご参加いただけますのでご相談下さい
◎国際大会ご参加後、他の地域、国へ行かれる場合も可能な限りアレンジをいたしますのでご相談下さい

詳しくは、近日中に各クラブへご案内パンフレットをお送りいたしますのでご確認下さい。

【旅行企画】
オンツー委員会　委員長　**荒木　樹**

【旅行手配】（受託型企画旅行）
旅の便利屋　帯広市西 15 条南 16 丁目 2-19

新入会員紹介

2018年8月・9月・10月入会

第３分区
富良野ロータリークラブ
大上剛司（おおかみ たけし）
●生命保険
●昭和40年６月11日
●９月27日入会

第５分区
北見ロータリークラブ
髙橋昭広（たかはし あきひろ）
●冠婚葬祭業
●昭和45年２月17日
●10月10日入会

第５分区
北見ロータリークラブ
梅津公弘（うめつ きみひろ）
●電気保安
●昭和37年８月27日
●10月10日入会

第６分区
帯広北ロータリークラブ
窪田篤弘（くぼた あつひろ）
●司法書士
●昭和49年４月４日
●10月５日入会

第７分区
釧路ロータリークラブ
石鍋斉（いしなべ ひとし）
●携帯電話
●昭和43年９月27日
●９月20日入会

第７分区
釧路東ロータリークラブ
黒川好夫（くろかわ よしお）
●土木建設
●昭和33年12月14日
●８月１日入会

第７分区
釧路東ロータリークラブ
池田紀明（いけだ のりあき）
●建設業
●昭和33年５月28日
●９月25日入会

第７分区
白糠ロータリークラブ
片山辰夫（かたやま たつお）
●造林技術
●昭和50年12月20日
●９月20日入会

ロータリー財団寄付者

分　区	寄付の種類	名　　前（ふりがな）	ロータリークラブ	寄付月日
第１分区	年次寄付M・PHF　１回目	中陳憲一（なかじん　けんいち）	稚内南ロータリークラブ	10月17日
第２分区	米山功労者　13回目	定木孝市朗（さだき　こういちろう）	名寄ロータリークラブ	10月12日
第７分区	米山功労者　２回目	漆崎隆（うるしざき　たかし）	釧路ベイロータリークラブ	10月３日
第５分区	ポリオ		清里ロータリークラブ	10月５日
第８分区	ＭＰＨＦ	笹谷芳夫（ささや　よしお）	中標津ロータリークラブ	９月14日
第８分区	ＭＰＨＦ	青山勇（あおやま　いさむ）	中標津ロータリークラブ	９月14日
第８分区	ＭＰＨＦ	長谷川眞（はせがわ　しん）	中標津ロータリークラブ	９月14日
第８分区	ＭＰＨＦ	田中憲司（たなか　けんじ）	中標津ロータリークラブ	９月14日
第３分区	米山功労者　11回目	井内治弥（いうち　はるや）	旭川北ロータリークラブ	９月27日

物故会員

謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈りいたします

■第２分区　美深ロータリークラブ

倉兼政彦（くらかね まさひこ）
畜牛飼育

昭和51年６月　入会
平成９年　職業奉仕委員長（理事）
平成10年　副幹事
平成11年　幹事
平成12年　ＰＨＦ
平成13年　副会長
平成14年　会長
平成16年　会員増強委員長
平成19年　新世代委員長
平成21年　情報・雑誌委員長
平成23年　国際奉仕委員長（理事）
平成25年　RI財団委員長

平成30年８月31日逝去
（72才）

RI2500地区

例会出席率及び会員数推移

2018年9月末報告

分区	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数 2018年7/1	当月	増減	女性会員
1	礼　文	3	78.0	14	14	0	0
	利　尻	3	76.5	17	17	0	0
	利尻島	3	61.5	13	13	0	1
	天　塩	2	54.2	11	12	1	3
	豊　富	2	100.0	22	22	0	1
	稚　内	2	81.9	47	48	1	2
	稚内南	2	75.0	36	37	1	2
	計		75.3	160	163	3	9
2	美　深	3	78.2	26	26	0	0
	枝　幸	4	74.3	22	23	1	0
	名　寄	4	89.3	58	59	1	2
	中頓別	3	79.6	18	18	0	0
	士　別	2	100.0	48	48	0	1
	下　川	3	92.0	4	4	0	0
	計		85.6	176	178	2	3
3	旭　川	3	71.3	71	72	1	0
	旭川東	2	83.1	34	34	0	0
	旭川北	4	77.2	42	42	0	3
	旭川南	3	84.9	33	33	0	0
	旭川西	4	76.3	49	51	2	5
	旭川東北	3	85.4	17	17	0	3
	旭川モーニング	3	89.3	28	28	0	5
	旭川空港	4	82.7	12	13	1	4
	美　瑛	2	69.2	27	26	-1	0
	富良野	3	100.0	48	50	2	2
	上　川	3	76.7	10	10	0	0
	2500REクラブ	3	89.5	19	19	0	1
	計		82.1	390	395	5	23
4	遠　軽	3	75.3	41	41	0	2
	紋　別	2	67.9	33	32	-1	0
	紋別港	4	85.9	35	35	0	0
	中湧別	3	92.6	11	11	0	1
	興　部	3	81.0	16	16	0	1
	雄　武	4	58.3	12	12	0	0
	滝　上	3	62.2	15	15	0	1
	計		74.7	163	162	-1	5

分区	クラブ名	例会数	出席率(%)	会員数 2018年7/1	当月	増減	女性会員
5	網　走	4	82.7	49	50	1	7
	網走西	3	84.5	50	49	-1	0
	美　幌	4	81.4	54	57	3	4
	北　見	4	83.0	55	57	2	4
	北見東	2	80.4	52	54	2	3
	北見西	3	90.5	59	62	3	0
	清　里	3	79.3	28	29	1	0
	留辺蘂	3	90.9	24	25	1	1
	斜　里	4	83.6	37	37	0	3
	計		84.0	408	420	12	22
6	足　寄	2	68.0	30	29	-1	1
	広　尾	3	90.5	21	21	0	0
	上士幌	4	63.0	14	15	1	0
	芽　室	4	71.0	26	28	2	1
	帯　広	3	83.5	89	93	4	6
	帯広北	3	88.9	67	68	1	2
	帯広西	3	84.0	71	75	4	3
	帯広東	4	91.0	39	39	0	2
	帯広南	2	85.8	75	77	2	8
	音　更	5	70.1	39	41	2	3
	清　水	2	76.2	22	21	-1	3
	計		79.3	493	507	14	29
7	釧　路	3	86.1	94	100	6	1
	釧路東	4	72.0	32	34	2	1
	釧路北	4	80.0	78	80	2	4
	釧路南	2	83.0	27	29	2	5
	釧路西	1	72.4	29	29	0	1
	釧路ベイ	3	92.1	21	21	0	1
	音　別	2	78.0	17	16	-1	0
	白　糠	3	83.3	9	10	1	0
	計		80.9	307	319	12	13
8	厚　岸	2	80.0	17	17	0	0
	別　海	3	59.3	19	18	-1	0
	浜　中	4	78.5	12	13	1	0
	中標津	2	69.1	21	21	0	1
	根　室	4	72.0	38	38	0	1
	根室西	3	85.6	49	50	1	0
	弟子屈	4	62.3	18	18	0	1
	計		72.4	174	175	1	3
総　計			79.3	2,271	2,319	48	107

第2500地区 全67クラブ	18年7/1会員数	9月30日会員数	増減	平均出席率
	2,271人	2,319人	48人	79.3%
女性会員数		107 人		

地区指導者育成セミナー

2018年9月28日（金）15：00〜16：15
ホテル日航ノースランド帯広

ＲＩ会長代理・会長・幹事懇談会

2018年9月28日（金）16：30〜17：20
ホテル日航ノースランド帯広

ＲＩ会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

2018年9月28日（金）18：00〜19：30
ホテル日航ノースランド帯広

姉妹地区（ＲＩ第3590地区）歓迎会

2018年9月28日（金）19：40〜20：50
ホテル日航ノースランド帯広

本　会　議

2018年9月29日（土）8：30〜17：35
ホテル日航ノースランド帯広

記念講演「エジプト文明からみた地球環境」

講師／吉村　作治

記念懇親会

2018年9月29日（金）18：00〜19：30
ホテル日航ノースランド帯広

2018-2019年度　国際ロータリー第2500地区
Rotary
第2500地区
地区大会 記念懇親会

国際ロータリー第2500地区
2018-2019年度　ガバナー

細　川　吉　博

■ガバナー事務所

〒080-0801 北海道帯広市東1条南14丁目1-1 タイヤセレクト2F
Tel:0155-66-9307　FAX:0155-66-9308
E-mail: ri2500-obihiro.north@road.ocn.ne.jp

■Governor's Office

Tire Select 2F,1-1,Minami 14-chome,Higashi 1-jo,Obihiro-shi
Hokkaido,080-0801,Japan
Tel:+81155-66-9307　FAX:+81155-66-9308
E-mail: ri2500-obihiro.north@road.ocn.ne.jp

http://rid2500.jp